

本城陸上競技場等3スポーツ施設指定管理者検討会 会議録

1 開催日時 令和元年 10 月 8 日（月） 9：40～10：45

2 場 所 北九州市役所 15 階 15C 会議室

3 出席者 (検討会メンバー)
井口構成員、河邊構成員、田代構成員、寺崎構成員、南構成員
(事務局)
市民文化スポーツ局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、担当係長、担当職員

4 会議内容

○応募団体（スポーツパークパートナーズ本城共同事業体）より提案概要に関してヒアリング。

（提案書の内容につき説明）

○応募団体（スポーツパークパートナーズ本城共同事業体）との質疑応答。

(構成員)

・構成企業の納税証明書について、修正申告をしているが、親会社の修正か。

(応募団体)

・構成企業の単独の証明書は発行できなかったため、親会社の納税証明書となっている。修正申告は親会社のもの。

(構成員)

・親会社から構成企業へ人が来るのか。

(応募団体)

・親会社からの出向がある。

(構成員)

・構成企業は、提案書づくりに参加したか。

(応募団体)

・全てではないが、一緒に作成している。

(構成員)

・構成企業の決算書において、原価の内訳明細が無い。代表企業は、内訳明細を添付しているが、指摘はしなかったのか。二社の連携が十分取れているか疑問に思った。

(応募団体)

・内訳明細は添付漏れ。連携については問題ない。

(構成員)

・建物の長寿命化において、小修理はとても大切なことである。具体的に修繕箇所を発見した時の流れを教えてほしい。

(応募団体)

- ・建築物は法定点検にそって修繕を行っている。その他は、優先順位をつけて、計画的に修繕を行っている。特に、屋外の工作物について延命を行っている。また、日々の始業点検から始まり、触る、見る、叩くなどして状況を確認し修繕を実施している。

(構成員)

- ・ギラヴァンツのホーム使用がなくなり、一般利用が増えているが、稼働率を上げる工夫をしているか。また、一般利用が多くなった理由を伺いたい。

(応募団体)

- ・Jリーグ開催時には、設営も含めて、週末は一般利用ができなかった。現在は、市との施設の利用調整で大きな大会が入るが、大会前後にも出来る限り個人利用を入れるようにしている。天然芝やグラウンドコンディションを整えるためにこまめに作業を行い、個人利用できる機会を増やしている。

(構成員)

- ・青空ヨガなどをやっているが、天然芝をうまく利用した自主事業を展開する予定はあるのか。

(応募団体)

- ・種目にとらわれず天然芝を気持ちよく利用して欲しいと考えており、グラウンドゴルフを実施している。今後はヨガを弾みとして他のことにもチャレンジしたい。

(構成員)

- ・学校との協議で施設利用が増えているとのことだが、具体的にどのような取組みを実施しているのか。

(応募団体)

- ・大会などが多く、一般の人が利用できる日は少ないが、一般利用枠をHPで公開して利用してもらっている。

学校との連携としては、折尾愛真高校の3年生の壮行試合など行っている。

(構成員)

- ・クラブにかかわる人の育成を行うとしているが、指定管理者として、実施する自主事業のプログラムとクラブの人が活動しているプログラムの関係についてどのように考えているか。

(応募団体)

- ・地域のクラブの利用を促すことで、つながりが出来、自主事業で行うスポーツ教室に地域のクラブに協力してもらった。地域のスポーツコミュニティのお手伝いをするのも一つの役割だと思う。

(構成員)

- ・過去10年間の中での1番大きな事故はあったか

(応募団体)

- ・指定管理者としての瑕疵を問われる事故はない。

(構成員)

- ・クレームはどのようなものがあるか。

(応募団体)

- ・我々の管理区域外である公園区域に関する苦情が非常に多い。

- ・公園とスポーツ施設を一体して管理した方が良いとの意見を受けたこともある。
- ・相手方への言い方のミス、トイレの貸し出し方法についてなど、自分たちの対応へのクレームもあるが、真摯に受け止め真摯に対応することを心掛けている。

(構成員)

- ・常日頃の従業員への教育が、十分ではなかったということか。

(応募団体)

- ・そういうこともある。もちろん再度の教育を行い、皆で情報共有をしている。

(構成員)

- ・天然芝について、昨年芝の張替えがあったため、いい状態に定着させるには2～3年かかると伺った。その後、どのような状況か。今回もしっかりと管理を行ってもらえるのか。

(応募団体)

- ・品質を落とすつもりはない。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換。

(構成員)

- ・施設の設置目的・利用促進についてももう少しアイデアがあればよかった。
- ・維持管理に関して、熱心に取り組んでおり、安心して任せられると思った。

(構成員)

- ・真面目に取り組んでいると感じた。
- ・長寿命化への取組みやクレーム対応などで課題が見つかった場合に改善を図ろうとする姿勢は、評価できる。

(構成員)

- ・本城陸上競技場は、客観的に管理運営において高い評価を得ており、提案書の内容から次期も手堅く丁寧な管理運営が期待できる。

(構成員)

- ・陸上競技場は他の施設とは違う専門的なノウハウが必要であり、専門性に長けているため適格性がある。
- ・利用者を増やす取組みについては、さらなる工夫が必要と感じた。

(構成員)

- ・説明では心もとない気がしたが、質疑応答での話を聞く中でしっかりとした方だという印象を受けた。
- ・構成企業が内部に入り込んでいない印象を受けた。

5 検討会としての検討結果について

各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを下記のとおり、決定した。

- 1 指定管理者としての適性のうち、
 - (1) 施設の管理運営に関する理念、基本方針については、4
 - (2) 安定的な人的基盤や財政基盤については、3
 - (3) 実績や経験などについては、4

- 2 管理運営計画の適確性に関する有効性のうち、
 - (1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについては、4
 - (2) 利用者の満足度については、4

効率性のうち、

- (3) 指定管理業務に係る経費については、3
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性については、3

適正性のうち、

- (5) 管理運営体制などについては、4
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについては、3

- ・今後の利用者数増加について積極的な提案は見られなかったものの、施設の長寿命化への取組みや芝生の手入れなど、施設の維持管理に関する熱意を感じ、安心して施設運営を任せられると感じた。以上のことから、本城陸上競技場等3スポーツ施設の業務を行うのに十分な適格性を有していると考えます。
- ・付帯意見について。代表企業と構成企業が共同体で事業に取り組むという点を、改めて両社が強く意識することを求める。